



テトラサイクリンによる軽度変色歯におけるⅢ級窩洞

日常臨床において、Ⅲ級窩洞のコンポジットレジン充填処置は頻度が高い実感がある。前歯部のため、充填窩洞外形が小さくとも、審美性に対する配慮が不可欠である。本症例はテトラサイクリンによる軽度変色歯に対するⅢ級窩洞充填症例である。変色歯の症例において、今までには充填材料のシェード選択や材料のストックに苦慮していたが、今回「クリアフィル® マジェスティ® ES フロー」(Low Universal)の「U」というシェードによって、それらを解決できた。

神奈川県
新百合ヶ丘南歯科

高山 祐輔 先生



術前の状態。#13近心、#12遠心隣接面充填物の審美障害が認められた。



全顎的にテトラサイクリンによる軽度の変色が認められ、事前にVITAシェードガイドにて色調を確認。C2と判断し充填材料に、「クリアフィル® マジェスティ® ES フロー」(Low Universal)を選択することとした。



ラバーダム防湿後、ブラーク染色液を用い接着阻害の原因になるブラークの付着を確認する。染めだされたブラークをエアポリッシャーにて除去する。



マイクロスコープ視野下にて慎重に、既存充填物を除去し、ベベル付与を行う。



被着面の未切削エナメル質に局限したリン酸エッチング材の塗布。その後水洗、乾燥。



プライマー塗布後、エアブローによる乾燥。その後ボンディングを塗布し、エアブローの後、光重合を行う。ここでは、添付文書に従い、「クリアフィル® メガボンド® 2」を使用した。



#13 近心隣接部の充填。重合収縮応力の発生抑制を考慮し、数回に分割し充填した。「クリアフィル® マジェスティ® ES フロー」(Low Universal)を使用している。



充填、光重合後の状態。#12 近心隣接部は、マトリックスとウェッジを用いて固定することで、隣接面の自然な形態を回復している。



12Dのメスを用い、余剰充填部の形態修正を行った後、ダイヤモンドバーによる形態修正を行う。



研磨ペーストを用い最終的に研磨を行う。



術後2日経過時。充填部分の色調、形態の調和が確認できる

- クリアフィル® マジェスティ® ES フロー 管理医療機器 歯科充填用コンポジットレジン 医療機器認証番号：224ABBZX00170000
- クリアフィル® メガボンド® 2 管理医療機器 歯科用象牙質接着材（歯科セラミックス用接着材料）（歯科金属用接着材料）（歯科用知覚過敏抑制材料）
医療機器承認番号：227ABBZX00114000
- 印刷のため実際の色調と異なる場合があります。 ●ご使用に際しましては、製品の添付文書を必ずお読みください。

製品・各種技術に関するお問い合わせ

クラレノリタケデンタルインフォメーションダイヤル



0120-330-922

月曜～金曜 10:00～17:00

ホームページ

www.kuraraynoritake.jp

連絡先

クラレノリタケデンタル株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6-4 常盤橋タワー
フリーダイヤル：0120-330-922

製造販売元

クラレノリタケデンタル株式会社

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

販売元

株式会社モリタ

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL. (06) 6380-2525
〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL. (03) 3834-6161
お客様相談センター：0800-222-8020（医療従事者様向窓口）
<http://www.dental-plaza.com>